

## 教員紹介

|                |   |      |                      |
|----------------|---|------|----------------------|
| 氏名             | 仲田 哲  | 担当科目 | 民事法総合演習、<br>民事執行・保全法 |
| <b>略 歴</b>     |   |      |                      |
| 出身地            | 兵庫県西宮市生まれ   |      |                      |
| 出身大学等          | 1974年 京都大学法学部卒業（法学士）  |      |                      |
| 職歴             | 1976年 司法修習終了（28期）・大阪弁護士会登録<br>1976年 河合法律事務所にて弁護士業務開始<br>1976年 海事補佐人登録（現在に至る）<br>1985年 「仲田哲法律事務所」開設<br>2002年 司法試験（第二次試験）考査委員（民事訴訟法）（～2005年11月）<br>2007年 大阪市立大学大学院法学研究科特任教授<br>2008年 三洋電機株式会社社外監査役（～2011年6月）  |      |                      |
| 在外研究歴          |   |      |                      |
| 社会貢献等          |   |      |                      |
| <b>主要研究業績等</b> |   |      |                      |
| 主 著 等          | 主著：<br>・「三訂版 実務民事保全法」（共著）（商事法務、2011年2月）<br>・新訂貸出管理回収実務手続双書「仮差押え・仮処分・仮登記を命ずる処分」（共編著）（金融財政事情研究会、2011年1月）<br><br>主論文：<br>・「参加と承継」（「論点 新民事訴訟法」所収）（判例タイムズ社、1998年6月）<br>・「新版手形小切手の法律相談」（分担執筆）（有斐閣、1992年10月）<br>・「抵当権者の明渡請求に関する二つの最高裁判決について」（河合伸一判事退官・古稀記念「会社法・金融取引法の理論と実務」所収、商事法務、2002年6月）<br>・「事前求償権と事後求償権の消滅時効中断の効力に関する最高裁判決」 |      |                      |

|  |  |
|--|--|
|  | <p>(金融法務事情 2036 号、2016 年 2 月)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「請負工事に用いられた動産の売主による請負代金債権に対する物上代位の可否」(金融判例研究第 9 号〔金融法務事情 1556 号〕、1999 年 9 月)</li><li>・「最近の執行妨害事例と実務上の対策」(クレジット&amp;ロー83 号、商事法務研究会、1996 年 8 月)</li></ul> |
|--|--|